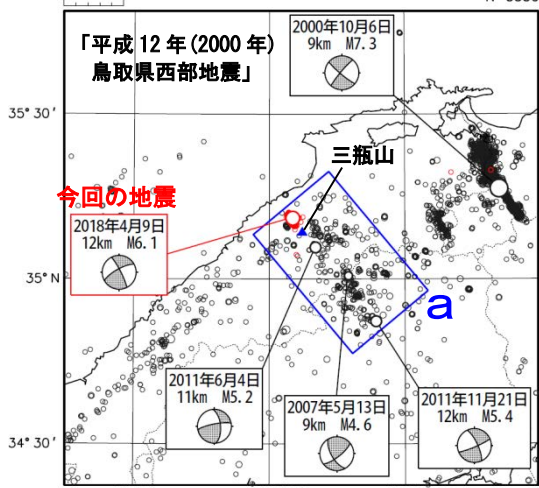
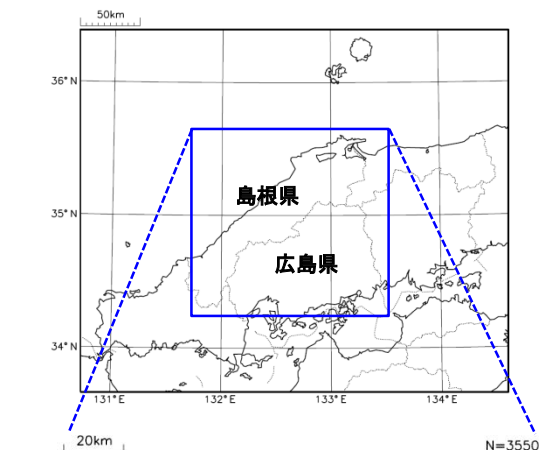
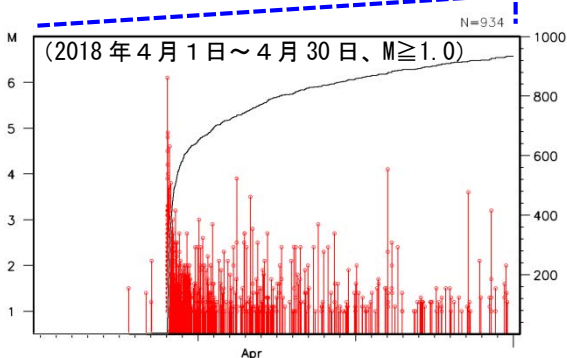
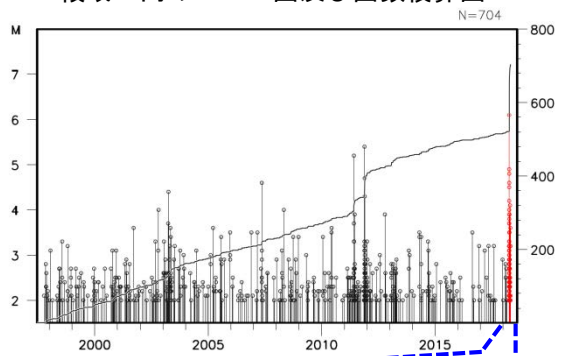


4月9日 島根県西部の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2018年4月30日、
 深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
 2018年4月の地震を○で表示
 ▲は活火山を示す



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

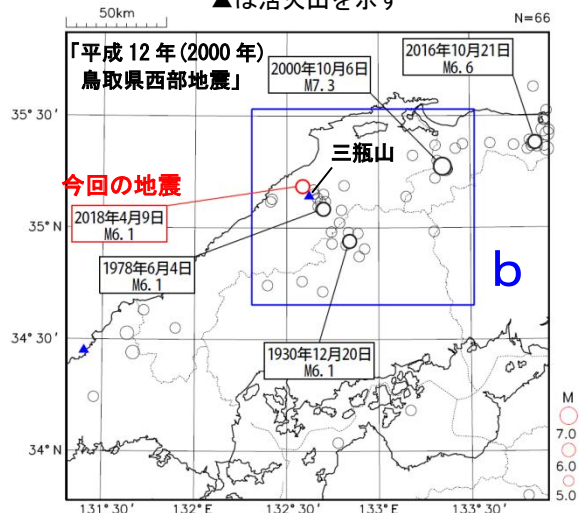


2018年4月9日01時32分に島根県西部の深さ12kmでM6.1の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震の発生以降、震源付近で地震活動が活発となり、9日02時10分にM4.9の地震（最大震度4）が発生するなど、震度1以上を観測する地震が4月30日までに今回の地震も含め、47回発生した（震度5強：1回、震度4：4回、震度3：4回、震度2：14回、震度1：24回）。この地震により重傷2人、軽傷7人、住家被害1,570棟などの被害が生じた（5月8日現在、総務省消防庁による）。

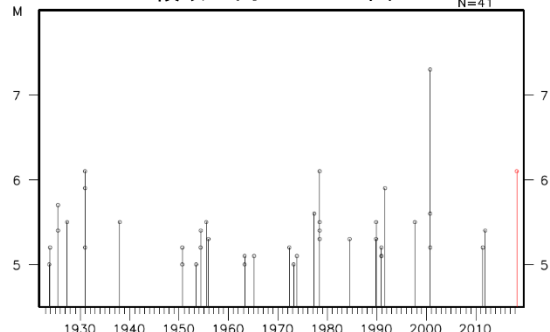
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、2011年11月21日にM5.4（最大震度5弱）の地震が発生し、重傷1人、軽傷1人などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」（M7.3）では、重傷39人、軽傷143人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

震央分布図
 (1923年1月1日～2018年4月30日、
 深さ0～20km、 $M \geq 5.0$)
 2018年4月の地震を○で表示
 ▲は活火山を示す



領域 b 内の M-T 図



気象庁作成